

科目名	デザイン実習 2C							年度	2025
英語科目名	Design Practice 2C							学期	1
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	林 久喜			教員の実務経験		有	実務経験の職種		デザイナー
【科目の目的】 一連のデザインプロセスを体験する実習形式の授業。リサーチ、アイデア開発、図面作成、模型制作もしくはCG制作など、段階に応じて各々が制作課題に取り組むことで今後業界で求められるスキルを向上させる。									
【科目の概要】 椅子、机など家具デザインを題材とした実習の科目である。この授業では個人ワークやグループワークを取り入れる。最終プレゼンテーションでは、模型およびプレゼンテーションボードを活用してデザイン提案を行う。									
【到達目標】 到達目標A：課題条件に適したコンセプト立案が出来る 到達目標B：コンセプトに沿った家具のデザイン・図面作図が出来る 到達目標C：伝えることを明確にしたコンセプトボード・プレゼンテーションが出来る									
【授業の注意点】 遅刻、欠席すると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることが出来ない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	課題条件を理解して、社会状況など問題解決を目的としたコンセプト立案できる		課題条件を理解して、課題に合わせたコンセプト立案できる		課題条件を理解して、課題に合わせたコンセプト立案できない				
到達目標 B	コンセプトに合った家具のデザインの立案を空間イメージを取り入れ表現し、図面作図ができる		コンセプトに合った家具のデザインの立案・図面作図ができる		コンセプトに合った家具のデザインの立案・図面作図ができない				
到達目標 C	自身の考えをまとめたボード制作を完成し、その家具の置かれているインテリア空間も提案してわかりやすいプレゼンテーションができる		自身の考えをまとめたボード制作・プレゼンテーションができる		自身の考えをまとめたボード制作・プレゼンテーションができない				

【教科書】									
なし									
【参考資料】									
課題資料等は授業中に配布。参考作品及び資料はclassroomにアップ。									
【成績の評価方法・評価基準】									
プレゼン：30%		制作物の発表方法、内容について評価する							
課題完成度：40%		提出課題完成度を総合的に評価する							
リサーチ：20%		制作準備と過程を評価する							
平常点：10%		積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		デザイン実習 2C						年度	2025
英語表記		Design Practice 2C						学期	1
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業概要説明、人間工学・サイズ確認	1	授業について	授業について理解できる			1	
			2	人間工学について	人間工学について理解できる				
			3	物のサイズについて	物のサイズについて理解できる				
2	グループワーク	グループごとにリサーチ・まとめ	1	課題について	課題内容を理解できる			1	
			2	個人で課題検討	課題に対して理解して検討できる				
			3	グループで課題検討	グループで課題に対して話し合うことができる				
3	リサーチ発表	各グループごとにリサーチ結果を発表／個人ワーク開始	1	グループで話し合い	グループで意見交換ができる			1	
			2	グループ発表	グループの一人として発表ができる				
			3	個人で再検討	自分の考えをまとめられる				
4	アイデア検討	異なる方向性で5案以上	1	アイデア出し	考えたアイデアをまとめられる			1	
5	アイデア確認	方向性の決定／中間発表準備	1	課題内容の再確認	課題に対して再度検討できる			1	
			2	アイデアまとめ	自分の考えをまとめることができる				
6	コンセプトボード	考えまとめ・中間発表用コンセプトボード	1	アイデアまとめ	自分の考えをまとめることができる			1	
			2	発表準備	考えをまとめたプレゼンボードが制作できる				
7	中間プレゼン	各自のデザインコンセプト発表	1	デザイン中間発表	自分の考えをみんなに発表できる			1	
8	デザイン検討・図面化	家具のデザインを検討	1	デザインの具現化	考えを形にできる			1	
			2	材料検討	材料を検討することができる				
9	エスキースチェック	デザイン案の確認／図面化：三面図作図	1	デザインの確認	考えたデザインから最もふさわしいデザインを選定できる			1	
			2	三面図作図	デザインを図面化できる				
10	エスキースチェック	デザイン案の確認／図面化：三面図作図	1	デザインの確認	コンセプトに合ったデザインができる			1	
			2	三面図作図	適したサイズの家具となっている				
			1	図面から立体へ	図面から立体へ作ることができる				

11	模型（CG）作成	模型もしくはCGにて表現				1	
12	模型（CG）作成	模型もしくはCGにて表現	1	図面から立体へ	図面から立体へ作ることができる	1	
13	模型（CG）作成	模型もしくはCGにて表現	1	図面から立体へ	図面から立体へ作ることができる	1	
14	プレゼンボード まとめ	模型撮影、まとめ	1	模型撮影	制作した模型を撮影することができる	1	
			2	空間との画像合成	撮影した画像とイメージ空間を合成できる		
			3	ボードまとめ	考えをまとめたボードを制作できる		
15	最終プレゼン テーション	自分のデザインを周囲に伝える	1	プレゼンテーション	自分の考えを周囲に伝えることができる	1	
評価方法：1. 作品評価、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							